

令和元年度 指定障害福祉サービス事業所マザーグースの家 事業報告

1 定員、実利用者数(令和2年 3月現在)

| 事業種別 | 定員 | 契約者数 | 実利用者数 |
|------|-----|------|-------|
| 生活介護 | 40人 | 43人 | 43人 |

4月当初は、44名であったが、1名入所施設へ移り43名となる。

2 生活支援員の配置状況

本来の配置基準は12.3名のところ、16.1名の支援員を配置している。年度途中まで人員配置体制加算有。現在は、ご利用者3名に1人の支援員体制で重度な方に手厚く支援をしている。

3 延べ利用者数

| | H31 4 | R1 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 平均 |
|--------------------|----------|---------|--------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-------|------|----------|
| 延べ利用者数(人) | 893 | 907 | 890 | 912 | 886 | 868 | 867 | 844 | 885 | 785 | 805 | 914 | 10,456 |
| 平均利用率(実利用者数/定数) | 101.5% | 98.6% | 101.1% | 99% | 97% | 99% | 94% | 96% | 96% | 94% | 94% | 100% | 97.48% |
| 前年度延べ利用者数(人) | 847 | 850 | 825 | 873 | 856 | 823 | 881 | 831 | 829 | 838 | 769 | 846 | 10,068 |
| 前年度平均利用率(実利用者数/定数) | 92.4% | 92.4% | 94% | 94.9% | 93% | 95.3% | 96% | 95% | 91% | 92% | 96.1% | 92% | 93.66% |

※今年度は2月が29日までであったため減。1月は今年度臨時休園を行ったため日数が減り%が上がっている。

4 障がい支援区分

| | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|----|
| 令和2年3月末現在 | 1 | 6 | 20 | 16 | 43 |
| 前年度3月末現在 | 1 | 7 | 16 | 17 | 41 |
| 比較 | 0 | -1 | +4 | -1 | +2 |

5 職員の勤務年数

| | 2年未満 | 2～5年 | 5～7年 | 7～9年 | 9～14年 | 14年～20年 |
|-------------|------|------|------|------|-------|---------|
| 施設長 | | | | | | 1 |
| サービス管理責任者 | | | 1 | | | |
| 生活支援員 | 9 | 6(2) | 1 | 1 | 1 | |
| 事務員 | | 1 | 1 | | | |
| 看護師 | 1 | | 1 | | | |
| 栄養士 | | | | | 1 | |
| その他(運転手・調理) | 5 | 1 | 1 | | | |

6 事故報告書

| | 上靴で画びょうを踏む | 転倒 | 他害 | 異食 |
|------------|------------|----|----|----|
| H31.4～R2.3 | 1 | 7 | 3 | 1 |

7 ヒヤリハット報告

| | 薬を落とす | 健康管理 | 所在確認 | 食材にクッキングペーパー付着 | 配膳中利用者さんに食事をこぼす |
|------------|-------|------|------|----------------|-----------------|
| H31.4～R2.3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |

8 苦情解決・虐待・身体拘束の報告

令和元年4月、5月、8月に安全虐待防止委員会による会議を実施。

身体拘束等の行動制限はなし。

苦情・・・0件

家族会でご家族の意向等の意見交換を行いながら事業を進めている。

また、ご利用者についてもご意見を伺い、気持ちを受け止めながら、その都度対応している。

9 行事

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 4月 | お花見行事(松島千本桜、神山森林公園、道の駅どなり) |
| 5月 | ノーマピック・スポーツ大会 |
| | 渦の道、大鳴門橋記念館エディ見学 |
| | 石丸製麺さぬきミュージアム(うどん工場見学) |
| 6月 | お楽しみ会(フラダンス)鳴門フラの会様ボランティア |
| | あせび交流会(玉入れ、射的ゲーム、カラオケ大会) |
| 7月 | 川島町ひまわり畑見学とカフェ、ジェラートなど少人数で参加 |
| 8月 | イオンモール徳島にておやつ、藍住町で喫茶 |
| 9月 | お楽しみ会(フラダンス)鳴門フラの会様ボランティア |
| | あせび交流会 |
| 10月 | 公園散策(月見が丘、緑の丘スポーツ、ウチノ海) |
| 12月 | とくしま動物園 |
| | クリスマス会 |
| | もちつき |
| 1月 | 初詣 |
| | 新年会 |
| サークル活動 | 広報、音楽、フラワーアレンジメント、3B体操、絵画、書道、笑いヨガ |
| | 地域清掃、スポーツ、こんだてサークルに希望者が参加している |

10 保健

施設に到着後毎日、検温・血圧測定の実施をし、体調確認の後でサービス利用している
また、健康診断をご利用者には年2回、職員には年1回実施し、インフルエンザ予防接種も実施

11 防災

避難訓練、水害を想定した避難訓練を年1回ずつ実施
すだちくんメールや災害伝言ダイヤルで職員間やご利用者家族と、安否確認の伝達訓練を実施

12 食事

自前厨房での利用者個々に応じた食事の提供の実施
2月からは、厨房職員の退職に伴い外注弁当にて新規採用の調理員が個々に応じた量や刻みに対応している

13 部会の運営について

安全虐待防止委員会…身体拘束等無いか等ご利用者の安全にかかる会議を実施。年3回実施
食事委員会…ご利用者の食事提供を検討する会議。月1回実施
感染対策委員会…インフルエンザやノロウイルスなど感染症に対する検討会議。随時実施

14 研修

| | | | |
|------|-----------------------------------|--------------------|-----------|
| 内部研修 | 障がい福祉課による防災研修 防災センターでの防災研修 口腔研修 | | |
| | 弁護士によるコンプライアンス研修 | | |
| | サポーターズカレッジによるネット研修(講義及びネット会議にも参加) | | |
| 外部研修 | 知的障害者福祉協会総会 | 対人援助職のための接遇研修 | 施設長会 |
| | 板野町人権推進協議会 | 福祉人材定着支援セミナー | チームリーダー研修 |
| | 対人援助職のためのコミュニケーション研修(初級) | 中堅職員ファーストステップ研修 | 受援力セミナー |
| | 福祉職場のメンタルヘルス研修 | 保護者会連合会特別研修会 | 総務部会 |
| | 強度行動障害支援者養成研修(基礎) | 災害時における個人情報セミナー | 生活支援部会 |
| | 四国地区人権教育研究大会 | 福祉就職転職ガイドランス | 日中活動支援部会 |
| | 防火管理甲種新規講習 | アンガーマネジメント研修 | 新任職員研修 |
| | 新調理法による人手不足解消について | 全国グループホーム等研修会 | 絵画教室 |
| | 対人援助職のためのコミュニケーション研修(上級) | 栄養成分表示に関する研修会 | てんかん基礎講座 |
| | 中国・四国地区知的障害関係施設職員研究協議会 | 福祉職場のためのレクリエーション研修 | 岐阜施設見学 |
| | 安全運転管理者講習 | 腰痛予防対策講座 | 集団給食協議会 |
| | 障害福祉サービス経営セミナー | あいの木視察 | |
| | 相模原障害者殺傷事件から3年命の重みを問い支援と人権を考える集会 | | |

15 事業の重点に対する報告

(1) 支援の充実を図る

支援員の利用者理解と職員体制の維持を中心に進めた。

支援員の利用者理解を進めるため、ご利用者個々の思いをくみ取る支援を検討した結果、少人数での行事を開催したことで、ご利用者の満足度が向上し、笑顔が増えた実感がある。

また、支援内容の硬直化を避けることから、これまで手薄だった20代前半の職員を3名採用と、中堅、ベテランの支援員の定着が図れたことにより、ご利用者を長期的な目線で支援できる環境を整える基盤づくりができたと考えている。

今後もご利用者個々の思いを大切にしたい支援を職員全員で検討共有しながら支援の充実を図りたい。

(2) サークル活動の活性化を図る

サークル活動により目的を持たせるため、書道で自分の気持ちを詩にした作品を「NHKハート展」へ出品を試みたり、ご利用者が写っている写真を写真展に出品するなどすることで、作品の制作の力の込め具合も変わり、これまでよりも積極的に取り組んでいただけるようになった。

また、通常サークル以外にも、手話なども取り入れ、歌＋手話であったり、歌＋ダンスであったり活動への変化を持たせることでプラス要素が図れ、ご利用者ものびのびと進んで参加することができ、活性化を図れることができた。

(3) 地域との交流を継続的に実施する

あせび作業所との交流やボランティアの訪問、近隣のブルーベリー園での収穫体験など、ご利用者支援のみに限らず、特別支援学校や教育委員会との交流などにより、障がい者への理解を深める機会としても捉えている。このような取り組みを継続して取り組むことにより、更なる効果を得たい。

16 来年度への展望

来年度は利用者が1名増え、44名のご利用者となる。支援の質を落とすことなく、これまで通りの支援の継続を進める予定である。

新型コロナウイルスが全世界的に猛威を振るう中、安心安全を第一に考えた支援、送迎などに努め、適切なタイミングでご利用者家族へ施設の方針や考え方を情報発信し、支援に対しての理解を得たいと考えている。外出する機会が減り、室内中心の一年になるであろうが、利用者さんが適切な距離感の中、安全にカラオケを楽しむ事ができるようマイクの消毒を含め、三密にならないよう自分自身が取り組めるところから対応していきたい。

また、保護者の不安解消を図るため家庭用にマスクと次亜水の配布を行い、家庭を含めた感染拡大を防ぐようにする。

食事場面においては、横並びの席にして対面にならないよう検討中であり、4月には実施する見通しである。

令和元年度 一般・特定・障害児相談支援事業 事業報告

板野郡委託契約相談支援件数…793件 相談方法、対応は以下の図の通り。

| 図1 | | 相談者 | | | | 計 | |
|------|-------------|-----|-----|------|------|-----|-----|
| | | 本人 | 家族 | 関係機関 | その他 | | |
| 年度月別 | 4月 | 30 | 14 | 30 | | 74 | |
| | 5月 | 41 | 9 | 19 | | 69 | |
| | 6月 | 33 | 7 | 19 | | 59 | |
| | 7月 | 32 | 12 | 18 | | 62 | |
| | 8月 | 34 | 17 | 19 | | 70 | |
| | 9月 | 29 | 13 | 31 | | 73 | |
| | 10月 | 43 | 10 | 28 | 1 | 82 | |
| | 11月 | 39 | 14 | 24 | | 77 | |
| | 12月 | 26 | 13 | 17 | | 56 | |
| | 1月 | 27 | 9 | 23 | | 59 | |
| | 2月 | 27 | 15 | 8 | | 50 | |
| | 3月 | 23 | 13 | 26 | | 62 | |
| | 計 | | 384 | 146 | 262 | 1 | 793 |
| | 図2 | | 本人 | 家族 | 関係機関 | その他 | 計 |
| 相談方法 | 訪問 | 179 | 34 | 41 | | 254 | |
| | 来所 | 40 | 25 | 14 | | 79 | |
| | 同行 | 45 | | | | 45 | |
| | 電話 | 58 | 71 | 189 | 1 | 319 | |
| | メール | 53 | 14 | 6 | | 73 | |
| | 個別会議 | 9 | 2 | 10 | | 21 | |
| | 関係機関 | | | | | | |
| | その他 | | | 2 | | 2 | |
| | 計 | | 384 | 146 | 262 | 1 | 793 |
| 図3 | | 本人 | 家族 | 関係機関 | その他 | 計 | |
| 時間帯1 | 06:00～07:59 | 1 | 2 | | | 3 | |
| | 08:00～17:59 | 377 | 139 | 262 | 1 | 779 | |
| | 18:00～05:59 | 6 | 5 | | | 11 | |
| | 計 | 384 | 146 | 262 | 1 | 793 | |
| 図4 | | 本人 | 家族 | 関係機関 | その他 | 計 | |
| 相談内容 | 福祉利用 | 164 | 96 | 191 | | 451 | |
| | 障害理解 | | 1 | 1 | | 2 | |
| | 健康医療 | 26 | 4 | 7 | | 37 | |
| | 不安解消 | 157 | 38 | 37 | 1 | 233 | |
| | 保育教育 | 1 | 1 | 4 | | 6 | |
| | 家族人間 | | 2 | 7 | | 9 | |
| | 家計経済 | 1 | | | | 1 | |
| | 生活技術 | 26 | 1 | 4 | | 31 | |
| | 就労支援 | 7 | 1 | 5 | | 13 | |
| | 社会参加 | 1 | | | | 1 | |
| | 権利擁護 | 1 | 2 | 6 | | 9 | |
| | その他 | | | | | | |
| | 計 | | 384 | 146 | 262 | 1 | 793 |

指定特定相談支援計画作成 障がい者…56件 障がい児…26件
 指定特定相談支援モニタリング 障がい者…75件 障がい児…12件
 指定一般相談支援事業地域相談支援 障がい者…1件 令和元年8月から延長更新
 障害支援区分認定調査(板野町委託)…10件

課題

相談支援事業は板野郡5町と委託契約を結び、地域の事情や状況に合わせて障がい者(児)またその家族と直接関わり、各関係機関と連携して福祉サービス利用へと繋げている。ご利用者の生活上の多様なニーズをどのように把握し、ご利用者の在宅生活をサポートするためにもできるだけわかりやすく説明することを心がけている。

平成31年1月から長期間精神科病院で入院されていたご利用者の支援を、指定一般相談支援

事業地域相談支援を1件対応を継続しており、退院後地域で生活を送るために必要な支援を精神科病院や関係機関と相談しながら行うことで退院生活が実現できている。

退院後の支援については特定相談支援事業として関わりを継続しており、福祉サービスの利用調整や生活状況の確認、不安解消のための助言や提案を行うことができた。

障がい者への支援は更に専門性が問われ、知的、身体、精神、難病、発達、高次脳機能、医療的ケアと障がい特性を理解できるような自己研鑽を深めることとあわせて、支援方法の統一が図れるよう関係機関と連携を取りながら進める必要性を感じている。

令和元年度
指定放課後等デイサービス事業所マザーグース7 事業報告

1 定員、実利用者数(直近月:令和2年 3月)

| 事業種別 | 定員 | 契約者数 | 実利用者数 |
|------------|-----|------|-------|
| 放課後等デイサービス | 10人 | 12人 | 10人 |

2 延べ利用者数

| | H31 4 | R1 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 平均 |
|--------------|----------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 延べ利用者数(人) | 167 | 146 | 144 | 146 | 136 | 124 | 125 | 121 | 116 | 138 | 127 | 113 | 1,603 |
| 平均利用率 | 66% | 63% | 57% | 56% | 59% | 53% | 54% | 50% | 48% | 60% | 53% | 47% | 55.5% |
| 前年度延べ利用者数(人) | 204 | 197 | 194 | 194 | 188 | 171 | 192 | 183 | 183 | 173 | 172 | 180 | 2,231 |
| 前年度平均利用率 | 85% | 82% | 74% | 77% | 81% | 77% | 77% | 76% | 74% | 75% | 75% | 69% | 76.8% |

3 職員の勤務年数

| | 2年未満 | 2～5年 | 5～7年 | 7～9年 | 9～14年 | 14年～20年 |
|-----------------|------|------|------|------|-------|---------|
| 施設長 | | | (1) | | | |
| 児童発達支援サービス管理責任者 | | | (1) | | | |
| 児童指導員 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 指導員 | 1 | | | | | |
| その他 | (1) | | | | | |

4 事故報告

| | | | | | | |
|------------|------|--|--|--|--|--|
| H31.4～R2.3 | 事故なし | | | | | |
|------------|------|--|--|--|--|--|

5 ヒヤリハット報告

| | 外出先での居場所確認 | 転倒 | 木馬での危険行為 |
|------------|------------|----|----------|
| H31.4～R2.3 | 1 | 1 | 1 |

6 虐待・身体拘束報告・苦情解決報告

事例なし

施設側が、町や相談支援事業所に利用者親の件で相談し、利用停止とした件が1件あり。

7 行事

就労支援B型の見学をはじめ、飲食店などへの外食経験、文化の森博物館見学、架橋記念館エディ、うだつの町並みへの訪問など、社会学習や社会経験を通した学びを毎週行っている。1月新型コロナウイルスの影響もあり、行事は自粛している。

8 防災

火災、水害、地震を想定避難訓練を各1回ずつ実施している。

9 研修

| | |
|------|--------------------------|
| 内部研修 | KYT危険予知トレーニング研修 |
| | 障がい福祉課による防災研修 |
| 外部研修 | 強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修) |
| | 子ども支援ネットワーク会議 |
| | 発達障がい児早期発見体制支援研修会 |
| | サービス管理責任者研修(児童発達支援管理責任者) |
| | 徳島県相談支援従事者研修(初任者研修Ⅱ) |

10 事業の重点に対する報告

(1) 社会性を育めるような指導を通して児童の経験を深める

ご利用者が情緒の安定を図れる空間をつくり、児童が落ち着ける指導員との信頼関係を形成することから始めた。自閉傾向のご利用者などに寄り添う支援を行い、状況を見て、指導的な活動を行うことで、児童の経験を深め、社会性を身につける支援を行った。

(2) 「できる」ことに自信をもてる言葉かけや指導を行う

各学年に合った言葉かけ、成功体験を褒めるなど、指導というより支援というスタンスを持ち、それぞれの児童に適した支援メニューを職員全体で共有し提供することができた。

コロナウイルス感染症の影響で学校が臨時休業となり、施設の利用を自粛される方、働く保護者の方々からは歓迎され、9時から17時までの預かりを行っていた。学校がなく不安な児童への適切な指導を行い、楽しい雰囲気の中で年度末を迎えている。

(3) 親子研修会の実施(マザーグース7からの情報発信)

川端老人憩いの家で、「腸内環境と健康について」の講演を実施し、ご家族や地域の方にも参加していただいた。これからも地域に向けて発信できることを考え地域貢献していきたい。

11 来年度への展望

3月より新たな所長兼児発管を据え、新たな体制で新規利用者獲得を行っていく。

自閉症の方やてんかん発作をお持ちの利用者さんなど支援学校に通われている児童を受け入れることを基本方針として事業を進めていきます。

児童の将来のために今我々は何が出来るのかを考えながら、指導というより支援により近い放課後等デイサービスを目指している。

3月2日からは、新型コロナウイルス感染症の影響で学校休業となったため、朝9時より児童を預かり、学校休業による家庭支援もしっかりと行っている。

今後も、学校休業が続くが、学校との連携を図りながら、個々の課題を学校と継続して行えるようにしていきたい。

令和元年度 マザーグースの家 日中一時支援事業 事業報告

1 定員

| 事業種別 | 定員 |
|----------|-----|
| 日中一時支援事業 | 10人 |

2 延べ利用者数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---------------|---|----|---|---|----|---|----|----|----|----|---|-----|-----|
| 延べ利用者数(人) | 1 | 0 | 1 | 7 | 3 | 2 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 21 |
| 昨年度比延べ利用者数(人) | 1 | -2 | 0 | 2 | -9 | 1 | 6 | 0 | -5 | -3 | 0 | -14 | -23 |

3 1年の報告

他の事業所を使われている成人ご利用者の、地域での居場所づくりとして相談支援専門員と行政が協力し、当事業所の日中一時支援事業を利用されている。

地域の中で、障がい有する方が一人で過ごすことがないよう地域と協力し合い、出来る限り日中一時などを利用いただき地域福祉に貢献できればと考えている。